テーマ④　読書推進の工夫

渡辺翁記念文化協会「絵本文庫」

宇部市立図書館

渡辺翁記念文化協会「絵本文庫」のセットの一例。

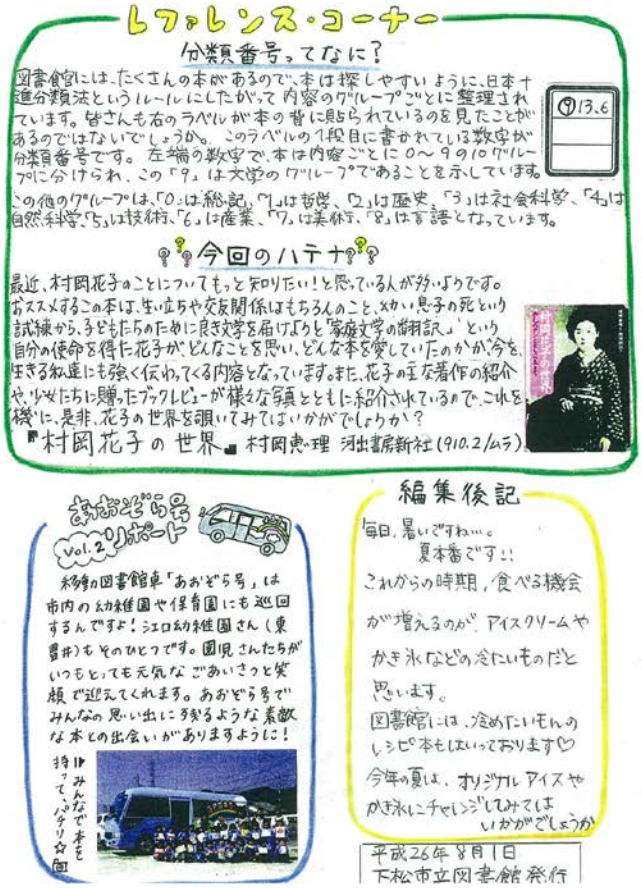
市内幼稚園・保育園の幼児を対象とした読み聞かせのための貸出文庫です。平成 18 年渡辺翁記念文化協会から子どもの読書活動支援のための一助として、寄附金をいただいたことから創設されました。ロングセラーの読み聞かせ絵本や科学絵本、行事向けや赤ちゃん向けなど、バラエティ豊かな 20 冊を 1 セットにして 70 セットを用意し、毎年セット内容を変えるなどして、多くの園に御利用いただいています。

また、セット貸出終了後は、通常貸出用の図書として、より多くの方々に御利用いただいています。

テーマ④　読書推進の工夫

図書館のお得な情報満載『本びより』

下松市立図書館



レファレンス・コーナー

分類番号ってなに？

図書館には、たくさんの本があるので、本は探しやすいように、日本十進分類法というルールにしたがって内容のグループごとに整理されています。皆さんも右のラベルが本の背に貼られているのを見たことがあるのではないでしょうか。このラベルの1段目に書かれている数字が分類番号です。左端の数字で、本は内容ごとに0～9の10グループに分けられ、この「9」は文学のグループであることを示しています。

913.6

この他のグループは、「0」は総記、「1」は哲学、「2」は歴史、「3」は社会科学、「4」は自然科学、「5」は技術、「6」は産業、「7」は美術、「8」は言語となっています。

今回のハテナ

最近、村岡花子のことについてもっと知りたい！と思っている人が多いようです。おススメするこの本は、生い立ちや交友関係はもちろんのこと、幼い息子の死という試練から、子どもたちのために良き文学を届けようと「家庭文学の翻訳」という自分の使命を得た花子が、どんなことを思い、どんな本を愛していたのかが、今を生きる私達にも強く伝わってくる内容となっています。また、花子の主な著作の紹介や、少女たちに贈ったブックレビューが様々な写真とともに紹介されているので、これを機に、是非、花子の世界を覗いてみてはいかがでしょうか？

『村岡花子の世界』村岡恵理 河出書房新社（910.2/ムラ）

あおぞら号 Vol.2 リポート

移動の図書館車「あおぞら号」は市内の幼稚園や保育園にも巡回するんですよ！シエロ幼稚園さん（東豊井）もそのひとつです。園児さんたちがいつもとっても元気なごあいさつと笑顔で迎えてくれます。あおぞら号でみんなの思い出に残るような素敵な本との出会いがありますように！

▶みんなで本を持ってパチリ☆

編集後記

毎日、暑いですねぇ…。
夏本番ですよ！
これからの時期、食べる機会が増えるのが、アイスクリームやかき氷などの冷たいものだと思います。
図書館には、冷めたいもんのレシピ本もはいっております♡
今年の夏は、オリジナルアイスやかき氷にチャレンジしてみてはいかがでしょうか

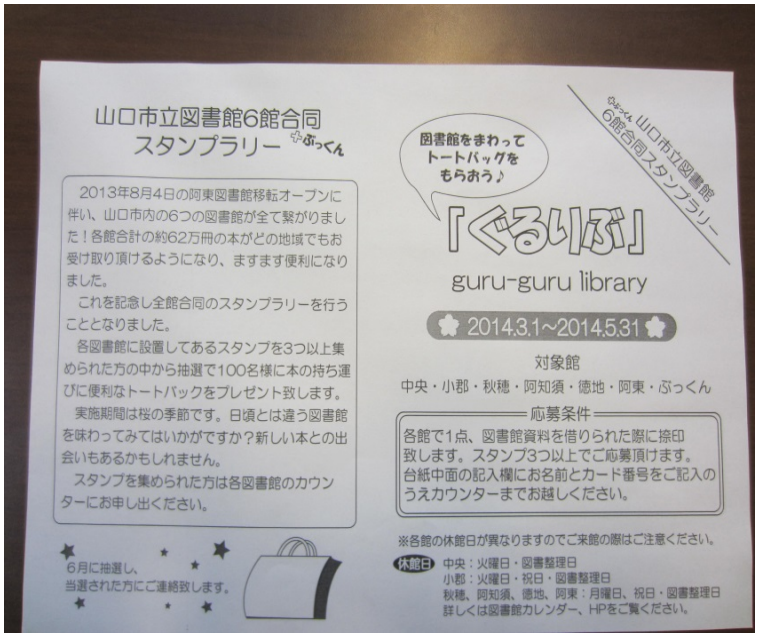
平成26年8月1日
下松市立図書館発行

『本びより』毎月発行している『新刊案内』とは別に、図書館の事を知ってもらおうと、不定期で発行している図書館職員手書きのチラシです。
レファレンス・コーナーでは、その時々にあわせてテーマを決めています。
普段利用されていない方にも知ってもらおうと、あおぞら号リポートも掲載。
裏面では、図書館職員がおすすめの本を紹介しています。

テーマ④　　読書推進の工夫

山口市立図書館６館合同スタンプラリー

山口市立図書館



山口市立図書館6館合同
スタンプラリー ぷっくん

2013年8月4日の阿東図書館移転オープンに伴い、山口市内の6つの図書館が全て繋がりました！各館合計の約62万冊の本がどの地域でもお受け取り頂けるようになり、ますます便利になりました。
これを記念し全館合同のスタンプラリーを行うこととなりました。
各図書館に設置してあるスタンプを3つ以上集められた方の中から抽選で100名様に本の持ち運びに便利なトートバックをプレゼント致します。
実施期間は桜の季節です。日頃とは違う図書館を味わってみてはいかがですか？新しい本との出会いもあるかもしれません。
スタンプを集められた方は各図書館のカウンターにお申し出ください。

6月に抽選し、当選された方にご連絡致します。

図書館をまわってトートバッグをもらおう♪

『ぐるりぶ』
guru-guru library

2014.3.1～2014.5.31

対象館
中央・小郡・秋穂・阿知須・徳地・阿東・ぶっくん

応募条件
各館で1点、図書館資料を借りられた際に捺印致します。スタンプ3つ以上でご応募頂けます。
台紙中面の記入欄にお名前とカード番号をご記入のうえカウンターまでお越しください。

※各館の休館日が異なりますのでご来館の際はご注意ください。

休館日　中央：火曜日・図書整理日
小郡：火曜日・祝日・図書整理日
秋穂、阿知須、徳地、阿東：月曜日、祝日・図書整理日
詳しくは図書館カレンダー、HPをご覧ください。

ひょうたん 山口市立図書館 6館合同スタンプラリー

お名前
カード番号
中央図書館❶
阿東図書館❷
徳地図書館❹
小郡図書館❷
秋穂図書館❸
阿知須図書館❹
移動図書館『ぶっくん』市内巡回中

山口市内には、６つの図書館と２台の移動図書館「ぶっくん」があります。各館、それぞれ特徴があり、スタンプラリーをきっかけに本との出会い、図書館との出会いを楽しんでいただけたらと思い企画しました。

さくらの季節に実施したので、ドライブがてらスタンプラリーに参加してくださったご家族もたくさんいらっしゃいました。子どもたちも自分でスタンプを押したりと図書館での楽しいひと時を過ごしていたようでした。

テーマ④　読書推進の工夫

本と友達になろう！ほんともカード

山陽小野田市立厚狭図書館

子どもたちにもっと本に親しんでもらうことを目的に毎年夏休みの期間に実施しています。

マンガ以外の本をかりるとき、カードにスタンプを押します。

スタンプは１日１個まで。

スタンプが６つたまるとちょっとしたプレゼントを渡しています。

今年も 200 人以上の子どもが参加してくれました。

普段図書館を利用しない子どもや読書をしない子どもが本を読むきっかけになればと思っています。

テーマ④　読書推進の工夫

どんな本がいい？子ども選書会

山陽小野田市立厚狭図書館

みんなでわいわい、実際に本を開いて吟味中。購入してほしい本に目印のしおりをはさみます。

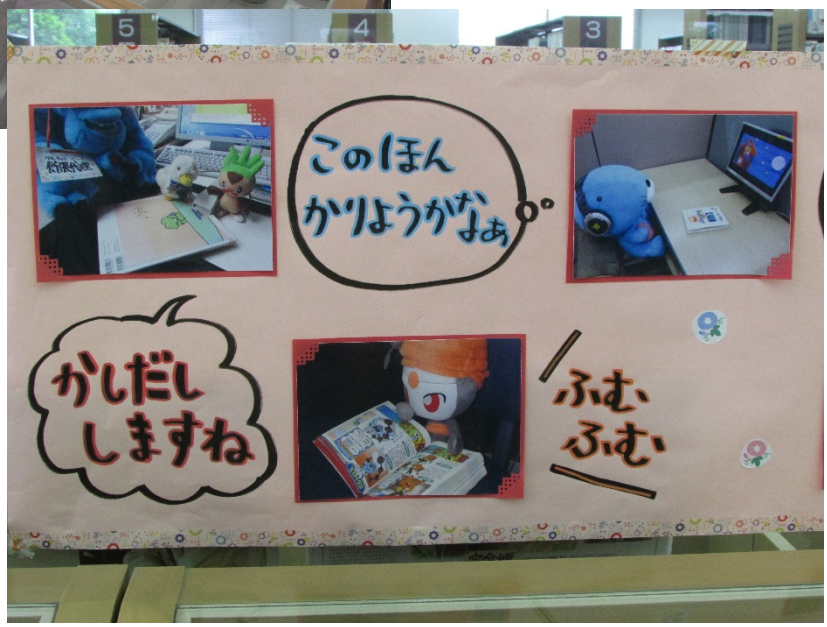
横山さんによる本の紹介。心おどる本に子どもたちは夢中です。

今年で２回目の開催です。
図書館にあるといい本、他の人にも読んでもらいたい本などを子どもたちに選んでもらいました。個人で１冊、グループで３冊。グループではみんなで相談しながら決めます。
選んでもらった本は図書館に新刊図書として購入予定です。
また、「子どもの広場」代表の横山眞佐子さんをお招きし、おもしろい本や感動する本などの紹介をしていただき、子どもたちは選書の参考にしていました。
子どもたちは横山さんの紹介した本に興味津々で、その場で仲良くなった子と本を広げ、内容を吟味していました。
今後も図書館が子どもたちの新たな本や読書の楽しみを共有する友達との出会いの場になってくれればと思います。

テーマ④　　読書推進の工夫

ぬいぐるみの図書館お泊り会写真展

山陽小野田市立中央図書館



今年７月に実施した「ぬいぐるみの図書館お泊り会」の様子を写真で紹介。今年は募集開始一日目で受付が終了するほどの人気でした。子どもたちはどの子も自分のぬいぐるみが読んでいる絵本を借りて帰ります。本に無関心な子どもや本嫌いな子どもにも効果的。

テーマ④　読書推進の工夫

大人も楽しい絵本のコーナー

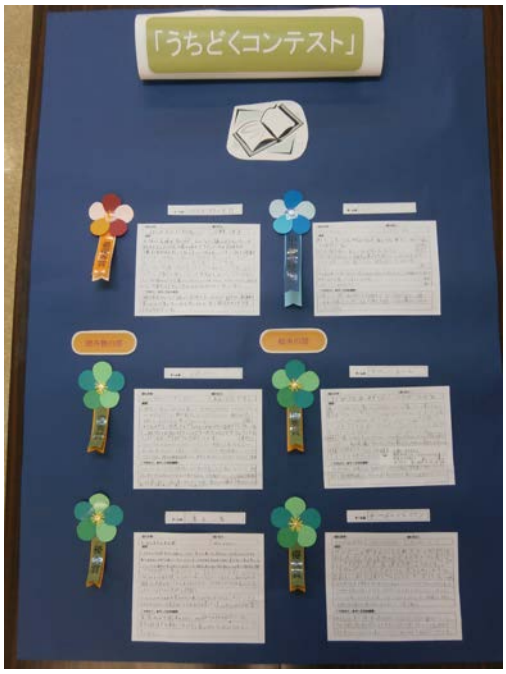
山陽小野田市立中央図書館

絵本は、ちっちゃな子どもから年齢制限なしで楽しめるメディア。これまで子どもの本のコーナーにあった絵本の中から大人も楽しめる絵本を抜き出し、このコーナーを設置しました。

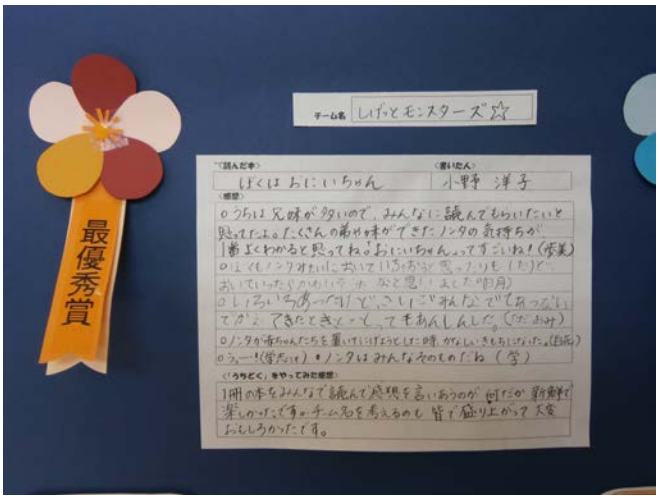
テーマ④　読書推進の工夫

「うちどくコンテスト」

周南市立中央図書館



応募総数　１４０件



２名以上の家族（親子、兄弟、祖父母など）で、「同じ本を読んで、感想を書く」というルールで募集。

「うちどく」をやってみた感想では、「家族で共通の話題が出来た」「同じ本なのに、それぞれが違った感想をもっていておもしろかった」など、１冊の本を通して家族が語り合い、楽しい時間を過ごせたことが伝わってきました。

このコンテストをきっかけに、親子で読書に関心を持ってもらえたことと思います。

テーマ④　読書推進の工夫

絵本の福袋

萩市立萩図書館

絵本カバーでバッグを手作り!!
中に絵本を入れている。

対象年齢別に本を分けて展示

年末年始の企画で『絵本の福袋』の企画を実施。
絵本カバーでバッグを職員で手作り、バッグの中に絵本を入れてバッグはプレゼントする。対象年齢別に展示し、バッグにタグで対象年齢と本のテーマを表示した。
絵本は３冊いれて、１人１日１袋に限定した。
100 セット以上作成したが、予定より早く無くなった。大人用も欲しいとの声があり、今年度は大人用の福袋も作成予定である。

テーマ④　読書推進の工夫

児童書特集

萩市立萩図書館

児童書特集コーナーを常設。小学生向けの図書を中心に毎回テーマを決めて展示。
展示期間は３ヶ月。毎回子どもたちに分かりやすいテーマにしている。
また、内容が小説や分類に大きく偏らない様にテーマを考えている。
展示のポップ大きく目立つように工夫をしている。

テーマ④　読書推進の工夫

本の帯アイデア展

萩市立萩図書館

「本の帯アイデア展」と題して、自分のお気に入りの本にオリジナルの帯を作ってもらい、友達や周りの人に PR する、というイベントを毎年行っている（今年で４回目）。作品を展示して利用者に投票してもらっているが、同世代の子どもが作った作品や本に興味を持つ小・中学生の姿が見られる。本を読み、その本の好きなところを表現する場を今後も提供していきたい。